

予算決算審査委員会 総務産業分科会報告書

平成28年10月27日

備前市議会議長 鵜川晃匠 殿

総務産業分科会
主査 山本恒道

平成28年10月27日に分科会を開催し、次の議案を審査したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	備 考
議案第96号 平成27年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定について中、 総務産業分科会所管部分のうち、まちづくり部ほか関係	—

予算決算審査委員会 総務産業分科会記録

招集日時	平成28年10月27日（木）	午前9時30分		
開議・閉議	午前9時30分	開会　～	午後2時05分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	会期中（第7回臨時会）の開催		
出席委員	主査	山本恒道	副主査	森本洋子
	委員	田原隆雄		尾川直行
		津島　誠		守井秀龍
		石原和人		
欠席委員	なし			
遅参委員	なし			
早退委員	なし			
列席者等	議長	鵜川晃匠		
	参考人	なし		
説明員	まちづくり部長	中島和久	まち産業課長	小川勝巳
	まち営業課長	田原義大	まち整備課長	尾野田瑞穂
	上下水道課長	藤森　亨		
	日生総合支所長	星尾靖行	吉永総合支所長	金藤康樹
傍聴者	議員	橋本逸夫	立川　茂	星野和也
	報道関係	読売新聞		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○山本主査 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席は7名でございます。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会総務産業分科会を開会いたします。

本日の委員会は、議案第96号のうち、まちづくり部ほか関係審査を行います。

それでは、直ちに本分科会所管部分の審査を行います。

それでは、22ページから25ページで、交通安全対策特別交付金から参ります。

○石原委員 交通安全対策特別交付金ですけれども、当初予算では480万円、それから326万1,000円ということで、歳出にも直結するんでしょうけれども、この減額となっている理由について御説明いただければと思います。

○尾野田まち整備課長 これは道路交通法に違反した罰金が充てられるようになっております。その額によりまして、各自治体に割り振りされてくるもので、今回は予算480万円とっておりましたけども、実際来たのが326万1,000円ということでございます。

○守井委員 昨年度も同じぐらいな金額なんですけど、予算のほうを減らしていかにかいけんのじゃないかという気がするんですけど、どんなですか。

○尾野田まち整備課長 26年度も480万円で328万8,000円でした。減っているということもありますので、今後は考えていきたいと思っております。

○山本主査 よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、次に、24、25ページで分担金及び負担金の分担金です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、次に、24、25の負担金、農林水産業負担金で何か。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、26、27ページの14、使用料及び手数料、使用料、農林水産業使用料で何か。

○尾川委員 農業使用料で、農業水路占用使用料175万8,380円とあるんですけど、昨年度に比べてかなり減額してきてる。使用料が減るということはどういうことなんですか。

○小川まち産業課長 この349万6,677円というのは、農道水路占用使用料175万8,380円、簡易給水施設使用料172万7,032円、行政財産使用料1万1,262円の合計でありまして、農道水路占用使用料は、昨年度の決算が192万6,130円で209件に対しまして、本年度は204件で175万8,380円という金額になっておりまして、金額的には若干減っていますが、大きな差はないものと考えております。

○山本主査 よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、26から29ページで、使用料及び手数料の使用料、土木使用料。

○守井委員 道路占用使用料、26年が1,018万円でちょっとふえておったんで、件数を教

えていただければと思います。

○尾野田まち整備課長 27年度の占用の件数は200件でございます。

○山本主査 それでは次に、使用料及び手数料で、総務手数料中、交付手数料。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、30、31ページの使用料及び手数料で、農林水産手数料。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、30、31ページで使用料及び手数料、手数料、商工手数料。

○尾川委員 船員手帳交付手数料がありますね。昨年度に比べたら少し1万円ほどふえておるよ
うに思うんです。要するに手帳を交付するのがふえてきたということだと思うんですけど、これ
はどういう意味があるんですか。

○星尾日生総合支所長 特に船員がふえたとかいったものじゃなくて、経済情勢というか、特に
そういったあれはございません。その年その年によって、それぐらいの誤差はあると思います。

○尾川委員 更新は何年に一遍なんですか。それと今現在何人登録されとんでしょう。この10
万7,900円の手数料というのは何件の金額なんですか。

○星尾日生総合支所長 内訳としまして、船舶航行証明書というのが31通で、金額が2,60
0円掛ける31通で8万600円と、それから船員手帳の交付手数料ですけど、1件が1,95
0円の14件で2万7,300円、合計10万7,900円となっております。

○尾川委員 要するに船員というのをどういう動向しとるかということを知りたいわけです。だ
から、備前市に所属する船舶があつて、どういう雇用状況とか、あるいは船がふえたり減ったり
しよるような動向は把握されとんですかというふうなことで、手帳が何年かに一遍で集中して交
付するとかというふうなことになつとんかなということ、その辺を分析されとんかなといふこ
とを言いよるわけです。

○星尾日生総合支所長 交付の窓口というのは岡山県下でも3カ所ぐらいでしょうかね。玉野、
岡山、それから笠岡だったですかね。特に使われている人は、赤穂が多いんです。日生の方はな
いことはないんですけど、おりたところの港でというようなところがありまして、半分以上は兵
庫県の業者さんといいますか船会社というんですかね、というのが昔は相生にあったんですけ
ど、今相生になくて、姫路まで行かなくてはならないということで、赤穂の方が日生へ来られて
というふうなケースが多々あります。

○山本主査 それでは、30、31ページの使用料、手数料で、土木手数料で何かありません
か。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、32、33ページで、国庫支出金、国庫負担金、災害復旧費国庫負担金で何かあり
ませんか。

○石原委員 災害復旧費国庫負担金、公共土木施設災害復旧費負担金で993万2,000円が
計上されておりますけれども、災害に対してのものでしょうけれども、規定といいますか、内容

について御説明いただければと思うんですけども。

○尾野田まち整備課長 これは、公共土木災害復旧事業ということで、災害復旧で湾戸1号線と檜線の道路災害復旧工事です。補助率が3分の2でありまして、その金額が993万2,000円ということでございます。

○山本主査 それでは、34、35ページの国庫支出金、国庫補助金、衛生費国庫補助金の1節で何か。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、34ページの国庫支出金、国庫補助金、農林水産業費国庫補助金で何か。

○守井委員 農林水産業事業費国庫補助金の減災事業ということなんですけれども、内容は。

○小川まち産業課長 この国庫補助金、農地費補助金は、大内地区の大ケ池と吉永町南方地区の南方大池のため池の耐震診断調査委託に係る補助金で、100%の補助を国庫補助ということでいただいております。ため池の耐震診断に対する国庫補助金であります。

○山本主査 それでは次に、34から37ページで、国庫支出金、国庫補助金、土木費国庫補助金で何かございませんか。

○石原委員 土木費国庫補助金のうち、それぞれ当初予算に比べますとかなり動きもあったり、減額になったりしとんですけれども、この動きについて御説明いただければと思います。

○尾野田まち整備課長 社会資本整備交付金の増減なんですけども、一番大きいのは日生の架橋が終わったということで、26年度に比べてかなり数字が下がっております。1節の社会資本整備の交付金578万円につきましては、吉永、金谷のA2号道路改良工事、それから日生、中日生線の道路改良工事の交付金が充たっております。農山漁村地域整備交付金につきましては今頭島で道路改良を行っております、その交付金で、だんだん事業が本格化してきているということでございます。

次に、2節の都市計画総務費補助金でございますけども、これは個人住宅の耐震診断等の補助金が事業費の2分の1ということで、これが入ってきております。それから、4節の住宅管理費補助金ですけども、これはスワ団地のエレベーターの改修工事、麻宇那団地の5号棟の改修工事に対する補助金が入ってきております。それから、7節の河川総務費補助金ですけども、これにつきましては、香登川改修工事の補助金が入ってきているということです。

○山本主査 それでは、42ページから43ページ、県支出金、県補助金、衛生費県補助金、4節で何か。

○守井委員 環境衛生費補助金で、浄化槽の設置整備事業ということなんですけど、件数は何件ですかね。

○藤森上下水道課長 46基分です。内訳は、5人槽が19、7人槽が21、10人槽が6基です。

○守井委員 浄化槽の補助金も増額してから、かなりふえてきているんじゃないかと思うんですけど、状況はどうですか。

○藤森上下水道課長 平成23年に増額するまでは、大体30基ぐらいで推移していたんですけども、23年に補助金を上げて、一気に60基を超えるぐらいいきましたけども、今は45基前後で推移しております。

○山本主査 それでは次に、42から45ページで、県支出金、県補助金、農林水産業費県補助金で何か。

○石原委員 農林水産業費県補助金のうち、農業委員会費補助金が2項目上がっておりますが、それぞれ当初に比べて増額となっておりますが、その理由、状況について御説明いただければと思います。

○小川まち産業課長 まず、農業委員会費補助金185万5,000円というのは、農業委員の数と農家戸数と農地面積割に対して149万円プラス、それと農地法の関係で36万5,000円ということで、従来よりも約30万円ちょっと上がっておりますのが一つと、農地集積集約化対策事業費補助金123万3,000円、これは昨年度農家台帳システムを新しく更新したため、それが農家台帳システムの更新、新しくする費用261万円費用がかかりましたので、増額となっております。

○石原委員 1件目の農業委員会補助金の当初予算に比べての増額分は、法の改正によるものということで理解しとったらよろしいんですか。

○小川まち産業課長 はい。法の改正というか内容の改正です。

○石原委員 続けてなんですが、農業振興費補助金のうち、当初予算では農作物獣害防止施設設置補助金100万円が計上されておったんですけども、決算では消えておるんです。理由をお示しいただければと思います。

○小川まち産業課長 濟いませぬ、休憩をお願いします。

○山本主査 休憩しますか。後からでええんじゃねえん。

それでは、暫時休憩します。

午前9時55分 休憩

午前9時56分 再開

○山本主査 それでは、休憩前に引き続き分科会を再開いたします。

○小川まち産業課長 防護柵を毎年6キロメートル分予算計上していたんですけども、その実績が1.61キロメートルという関係で減額をしております。メートル当たりの単価が大体1,000円弱で、防護柵の材料費の関係で減額をしております。

○石原委員 県からいただくものですんで、こちらが何ともいうところなんでしょうけども、じゃあ6キロ分で100万円計上しとったけれども実績が1.61キロメートルで、減ったにせよ、それだけの柵を設置しておりながら、県からの補助金が一気にゼロになってしまうということなんですかね。

○小川まち産業課長 濟いませぬ。後ほど。(後刻答弁あり/9ページ)

○山本主査 休憩。

午前 9時59分 休憩

午前10時04分 再開

○山本主査 引き続き、これより分科会を開きます。

休憩前の5目を後回しにして、44、45ページの県支出金、県補助金、それから商工費県補助金から参ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次、県支出金、県補助金、土木費県補助金をお願いします。

○守井委員 耐震診断の件数はどれくらいの件数だったのでしょうか。

○尾野田まち整備課長 個人住宅の耐震診断なんですけども、耐震診断が3件、それから補強計画が1件、改修工事が1件であります。

○山本主査 ええですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、44、45ページの県支出金、県補助金、災害復旧費県補助金です。

○石原委員 災害復旧費県補助金のうち、農地災害復旧費補助金ですけれども、299万3,000円、こちらも基準を御説明いただければと思います。

○中島まちづくり部長 この農地災害復旧事業の補助金につきましては、平成27年7月の台風第11号による被害を受けた箇所の改修でございまして、日生町寒河、穂浪、鶴海、それから久々井地区の4カ所を工事したものでございます。

この台風11号で、通常でしたら農地50%、農業用施設が65%の国庫補助というふうになっておりましたが、激甚災害という指定を受けましてかさ上げされたということで、事業費310万円に対して補助金が299万3,000円という形でいただいております。

○山本主査 ええですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、46から47ページで、県支出金、県委託金、商工費県委託金で何かありますか。

○守井委員 観光費委託金で、ダムの施設管理委託金が26年度に比べて約40万円減額になっているんですけど、どんなんですかね。

○金藤吉永総合支所長 八塔寺川ダム周辺の整備等に関する委託金でありまして、もちろん県の予算もございまして、県の経費削減とあわせてまして市のほうでもその業務に対しまして、業務改善を図りながら減額となっておりますのでございます。

○守井委員 県の経費削減ということでよろしいですか。面積が減ったとかそういうんじゃないんですか。

○金藤吉永総合支所長 面積の減とかはございません。

○尾川委員 首都圏情報受発信共同事業委託金が出とんですけど、これはどういう内容でどの程度評価しとるんですか、その辺をちょっとお答え願いたいんですけど。

○田原まち営業課長 これは、県の単年度事業でございまして、県が東京に整備しましたアンテナ

ナショップ、とっとり・おかやま新橋館において催事を催す場合に補助するというのでつくった委託金でございます。内容といたしましては、本市においては昨年の9月に実施しました備前焼を用いたビール祭りであるとか、あとは12月に実施しました備前焼deおもてなしキャンペーン、それと1月に実施しましたかき祭の費用として充てております。それぞれビール祭りでは来場者500人、備前焼deおもてなしが約700人、かき祭では約1,000人の方が訪れられて好評ということでございます。それにかかわる費用に充てているものでございます。

○尾川委員 28年度も計画しとったんかな。要するに、補助金が出るからやって、後はやらんという考え方なんですか、どんなですかね。

○田原まち営業課長 これは、とっとり・おかやま新橋館の最初の県が肝いりで推進するというので、27年度において実施したものでありまして、今年度につきましては、その予算はついてはおりません。

○尾川委員 そしたら、もう備前焼のビール祭りじゃとかかき祭じゃというのはやらんということですか。

○田原まち営業課長 市の単独であるとか国の補助とか、そういったのを活用して今でも商工会等とも連携しながら計画をして、可能な限り実施するようにやっております。

○山本主査 ほかに、ええですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、46から49ページ、県支出金、県委託金で土木費県委託金。

○石原委員 港湾管理費委託金ですけれども、当初予算では3,117万3,000円が2,990万5,991円ということで、約120万円減額になっております。それから、平成26年度決算でも3,099万円余りだったものが今年度はこういうことで、この委託金は減少傾向といたしますか、今後ともこういうような動きで見込んでおられますか、そう理解しとったらいですか。

○尾野田まち整備課長 この港湾管理委託金の主なものは、片上埠頭の港湾施設の使用料、これをもとに県から委託金 comes しておりますので、片上埠頭の港湾の使用が少なくなれば、この委託金も減ってきますので、その辺はちょっと状況を見ながらという形になるかと思えます。

○石原委員 それから、都市計画総務費委託金ですけれども、備考欄の一番上の建築基準法関係事務取扱市町村交付金が、当初予算では10万円計上されておりましたけれども、決算では8,000円ということで、この動きについて御説明いただければと思います。

○尾野田まち整備課長 これは建築確認申請の手数料として入ってくるもので、今は民間もこういう手続をしていますので、そちらに流れたということで、市に出てくる建築確認申請が少なかったと考えております。

○山本主査 それでは、48から51ページの財産収入、財産運用収入、利子及び配当金。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、次に、50、51ページの財産収入、財産売払収入、物品売払収入。

○守井委員 まち整備課の書籍冊子売払収入が900円とあるんですけど、これは地図の販売になるのかなというような感じに思うんですけど、どのくらい出るんですかね。

○尾野田まち整備課長 これは、まち整備課で大きな図面を焼けるものがありますので、そちらを使ったということでございます。

○守井委員 枚数とかというのはわからない。

○尾野田まち整備課長 申しわけありません、枚数ちょっと確認できておりません。

○守井委員 わかりました。

○山本主査 それでは次に、52から53ページで、繰入金、特別会計繰入金、宅地造成分譲事業特別会計繰入金で何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、54、55ページの繰入金、繰入金、架橋準備基金繰入金で何か。

○守井委員 27年度で完成というようなことなんで、この繰入金はもう終了するのかなと思いはるんですけど、そのあたりはどんなですかね。まだ引き続いてあるのかな。

○尾野田まち整備課長 この繰入金につきましては、架橋が終わったということで今回一般会計に入れたものでございます。基金につきましても廃止とさせていただいております。

○山本主査 それでは、54、55ページの繰入金、基金繰入金、中山間地域保全基金繰入金で何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、56から59ページ、諸収入、貸付元利収入、労働融資貸付基金元利収入。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、58、59ページの諸収入、委託事業収入、土木委託事業収入で何かありませんか。

○守井委員 道路整備受託事業収入で、受託ですからどっかから委託を受けた事業というようなことだと思んですけど、これどこから受けた事業なんでしょうか。

○尾野田まち整備課長 これは浜山の工業団地が売れたのに伴いまして、その取りつけ道路、これは市道になるんですけども、市道部分を整備させていただきました。それに伴って、県の土地なんで、その工事費につきましては県から受託事業ということで収入を得ています。

○山本主査 それでは次に、58から62ページの諸収入、雑入、雑入、別紙です。

○守井委員 まち営業課の商工費雑入で、商品券販売収入1億7,000円何がしかあるんですけど、その枚数なり件数なりをお聞かせいただけたらと思います。

○田原まち営業課長 商品券販売収入1億7,095万5,000円なんですけど、地域創生分として1万1,055セット分、1億1,055万円と、あとは子育て世帯分が6,040万5,000円で販売しております。

子育て世帯分につきましては、各世帯のセット数はいろいろございますが、購入セット数の合計が7,347セットとなっております。

○守井委員 地域創生のほうは完売というようなことだと思いますけれども子育てのほうが予定の数よりも幾らか少なかったんじゃないかと思っているんですけど、それは大体予定の何%ぐらいの販売率なんですか。

○田原まち営業課長 対象世帯が2, 218世帯で、1, 547世帯へ販売しております。69.7%ぐらいです。

○石原委員 先ほど商品券についての御説明がございましたが、さきの厚生文教委員会で、昨年度行われました高齢者向けの生活応援券のときのアンケートの調査結果を御丁寧に一覧で資料提示いただいたんですが、今回この商品券発売に当たって、たしかアンケート調査も実施された記憶があるんですが、アンケートの内容についてしばらく後でも結構ですので、結果をいただければと思うんですけど、いかがでしょう。

○田原まち営業課長 濟いません、その辺を把握し切れておりませんので、またそういうのがあれば御提示できるかと思えます。(後刻答弁あり/10ページ)

○石原委員 よろしくお願ひします。

それから、農林水産業費雑入ですけれども、ここでも何件か当初予算に計上されておったものがなくなったりというのが見受けられるんですけども、所管がもし違えば御指摘いただければと思うんですけども、森林保全再生事業補助金精算金が予算では83万1,000円計上されておりました。それから、水源林立木売払収入が87万円計上されておりました。それから、水稲被害防止施設設置補助金64万円が当初予算では計上されておったようなんですけれども、それらが決算では消えておりますが、この状況について御説明いただければと思えます。

○小川まち産業課長 全てはちょっとわからないんですけど、水源林の雑入につきましては、作州かがみの森林組合と水源涵養のために地上権設定を契約しておりまして、27年度は伐木をして搬出して、その収入が見込めないということで、当初上げていたものがゼロに落としたということでありまして。(後刻答弁あり/21ページ)

○石原委員 また後でも結構ですので、ほかの2件についても御説明いただければと思えます。

○山本主査 それでは、農林水産業費県補助金は、歳出の前に終わらせますか。

ほんなら、ここで休憩いたします。

午前10時31分 休憩

午前10時45分 再開

○山本主査 それでは、休憩前に引き続き分科会を再開します。

後送りになっておりました42ページの農林水産業費の県の補助金から参ります。

○小川まち産業課長 100万円をゼロにした理由なんですけれども、その要件といたしまして、市町村被害防止計画に位置づけられていること、整備地区ごと受益戸数が3戸以上であること、整備内容が効率的であり受益者の話し合いに基づく合意が得られていることというのがあるんですけども、この要件の中で3戸以上であることとかという部分が要件に当てはまらなかったために補助金が減額されたということでありまして。かわりに1.61キロメートルをしたんですけ

ど、それは2戸というこの要件以外に対しての補助を出してやっております。

○石原委員 あとまた歳出のほうでお聞きします。ありがとうございました。

○田原まち営業課長 先ほどのプレミアム商品券のアンケートの件なんですけど、28年2月の委員会のほうで、26年の当初にアンケートをとった結果を報告をさせていただいたということでございます。もし、必要であれば、もう一度お出しすることはできます。

また、子育てのアンケートについては、特段アンケートはとってないということでございます。

ただ、大規模店等からの聞き取り調査をしております、大型店舗等におきましては、おおむね売り上げが増加しているという返答をいただいております。プレミアム商品券の効果として、市内だけでしか使えないと、今までは赤穂とか岡山、瀬戸内市とかに行っていたところが、市内の消費につながったのではないかと考えております。

○山本主査 それでは、歳入で何か質疑漏れがあったら。

○守井委員 29ページなんですけど、土木使用料の住宅使用料、公営住宅使用料なんですけれども、収入未済額が7,900万円ということで、26年度が7,500万円ということで400万円ふえておると。収入未済額が変わらなかったような感じなんですけれども、この公営住宅の徴収率、こちらにも書いてあるんですけれども、その状況はどんなかというのをちょっとお伺いしたいと思います。

○尾野田まち整備課長 公営住宅の使用料の収納率でございますけども、平成27年度が84.7%でございます。ちなみに26年度は82.4%でございます。

○山本主査 それでは、これで一旦歳入を終わって、歳出へ参ります。

78ページから81ページ、総務費、総務管理費の企画費中、企画政策調査委託料の一部で何か。ありませんか。

○石原委員 委託料です。本日は企画政策調整委託料の一部となっておりますけれども、この委託料のうち、きょう審査するべき一部について御説明いただければと思います。

○尾野田まち整備課長 企画政策調査委託料717万2,550万円のうち、まち整備課のほうで行いましたものが旧アルファビゼンの庁舎の検討の委託料として155万880円。それから、西片上駅のバリアフリーの検討の委託料として106万7,040円、この2件でございます。

○山本主査 次、86ページから89ページの総務費、総務管理費で、地域振興費です。

○石原委員 地域振興費のところでは別紙とあるんですけれども、別紙のうちきょうこの委員会で審査すべき費目といたしますか、どこに当たるんでしょうか。

○星尾日生総合支所長 この予算につきましては総務関係になりますので、4日の分科会ではないかなと認識しております。ここでお答えすべきだったら、お答えしますけど。

○山本主査 きょうはもうない、これではないらしい。次の4日の日らしいです。

○田原委員 ちょっと委託料に戻るんですけれども、さっきの西片上駅とアルファの件ですが、成

果品はどうなっとるんかな。委員会に報告してくれていますかね。

○尾野田まち整備課長 旧アルファビゼンの委託料につきましては、委員会のほうで旧アルファの改修とここの建てかえと、そういう比較検討の資料をお渡ししていると思います。

西片上駅のバリアフリーのことにつきましては、報告させていただいてないと思います。

○田原委員 どんなことをしたんですか。

○尾野田まち整備課長 バリアフリーということで、流川からエレベーターで西片上駅に上がることができないかという検討をしております。

○田原委員 その結果は。

○尾野田まち整備課長 お金もかかりますんで、かなり難しいものではないかと考えております。

○田原委員 調査したんじゃから、こういう結果が出ましたということを教えてくれたら、金がかかろうともそれはやらんといかんという検討するのが委員会の役目というふうに私は思うとる。執行部だけが市政をしとるわけじゃねえからな。やはり成果品は、こういう結果が出ましたというのを教えてくれんといかんわ。私たちも多額の報酬をいただいて市政に参画しとんじや、ぜひ出してください。委員長、要求してください。

○尾野田まち整備課長 後で資料のほう提出させていただきます。

○山本主査 よろしくお願いします。

それでは、124ページから129ページの衛生費、保健衛生費、保健衛生総務費、28節中飲料水供給事業特別会計繰出金で何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、128ページから131ページ、衛生費、保健衛生費、県境衛生費のうち、19節中浄化槽設置整備事業補助金と28節の浄化槽整備事業特別会計繰出金で何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、138ページ、139ページ、衛生費で上水道及び簡易水道費で何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、138ページから141ページの労働費、労働諸費で何か。

○尾川委員 勤労者センターとかリフレセンターびゼンの指定管理料の件なんですけど、27年度からちょっと下げてきとるんですけど、やみくもに値切るとブラック企業をつくるようなことになるようなことになるんじゃないかと思うんですが、どういうふうに今後は考えとるんですか。説明していただいたらと思うんですけど。

○田原まち営業課長 現在勤労者センターとリフレセンターを備前市施設管理公社のほうに指定管理しております。指定管理期間につきましては、平成27年度から29年度ということで、29年度中に各施設の管理に係る財務状態であるとか運営状況を精査いたしまして、30年以降の指定管理についての協議と算定をしまいたいと考えております。

○尾川委員 それで、要するに30年以降は見直しするという事なんですが、経費節減していただきよるといふことで、そのあたりのバランスというのはいかに把握されとんですか。

○田原まち営業課長 施設管理公社というのが一般財団法人といふことで、営利を目的としたものではないんですが、経営もしていかなければならないといふことも勘案しまして、協議を進めてまいりたいと思ふます。施設管理公社のほうも理事会等がございますので、そちらの審議を経て契約をしているといふことでございますので、鋭意協議、調整をしてまいりたいと思ふます。

○中島まちづくり部長 先ほどの件でございますけれども、基本的に30万円未満の小規模な修繕につきましては施設管理公社で対応していただくと。大規模な修繕とか工事につきましては市のほうが予算をつけて改修をしていくといふふうな取り決めを行っております。

○尾川委員 その基準といふのはどういふふうになつとるん。知つとると思ふけど、厚生省なんかが社会保険関係の施設を全部改修しよつたわけ。だけど、そういうすみ分けを、大きな規模は市がやりますと、ちょっとした修理、どの程度の修繕か要するに基準を決めとると思ふけど、そのやりとりでどうしても更新せずに放つとくといふことになつてくるんじゃないかなといふ面と、それからおんぶにだっこでもしてもらえといふのがあつて、営利目的じゃないといふ説明があつたけど運営資金からどういふふうで最低のランニングコストといふか、修繕とかそのあたり捻出してといふのはあると思ふんじゃないけど、大規模、小規模といふのはどういふふうで、要するに使用者の側から言へば、ふぐあいがどの程度あるんか、サービスと費用の問題、どんどん縮めていきよるといふのと、調整といふのをやはり考へてもらわにやいけんのじゃねえかといふ感じがあつて質問したら、そういうことに派生したから、その辺のこともちょっと、ほかの施設も絡んでるんですけどね。その辺もう少し説明してもらえたらと思ふんですけど。

○中島まちづくり部長 基本的には30万円といふ線がございます。それに基づきまして、30万円未満であれば、施設管理公社のほうでしていただくといふことにしております。いずれにしても、建物が非常に古いものが結構ございます。そういった中で、どういった施設から改修していくかといふのも今後公社としっかりと協議をして進めていかなければいけないといふふうには思っております。

○石原委員 141ページです。使用料及び賃借料なんですが、これもゼロになつとんですけども、当初予算では施設使用料といふことで、ここで85万円計上されておつたんですが、この動きについて御説明いただければと思ふます。

○星尾日生総合支所長 この部分につきましては、厚生文教委員会でも出た案件でございまして、指定管理者のほうであります施設管理公社でございまして、当初指定管理料決めるときに減免申請の分を市のほうが補うような予算を上げていたんですけど、その減免分につきましては当初の契約するときに入っているといふことで、これはもうお支払いしないといふことでこの85万円は落とされたものだと思います。これ厚生文教委員会でも御質問がありましたので、私が答えさせていただきます。

○山本主査 それでは次へ参ります。140ページから147ページ、農林水産業費、農業費で

何かありませんか。

○石原委員 農業総務費、職員手当等で列挙されておるんですけども、可能であれば、この職員の皆さんがいただいておりますの手当についての規定、順次改定等もあるかもしれませんし、最新のものが資料としていただければと思うんですけどもいかがでしょうか。

○中島まちづくり部長 その部分につきましては、総務課のほうへお願いしていただけたらと思います。

○石原委員 じゃあ総務産業委員会のおきをお願いしたいと思います。

それから、農業委員会費の中の役務費、通信運搬費ですけども、4万400円計上されておるんですけども、当初予算では36万3,000円が計上されておりました。当初に比べたらかなりの率で減つとるんですけども、この状況について御説明いただければと思います。

○小川まち産業課長 大幅な減額理由は実績なんですけど、その内容につきましては、利用の意向調査のための郵送料が82円掛ける220件掛ける2回で3万6,080円プラス農業会議等のゆうパック360円掛ける12枚で4,320円、トータルが4万400円となっております。

○石原委員 それらの通信費用、郵送であったりゆうパックであったりということですけど、その件数がとにかく当初の見込みより、金額でいきますと約9分の1になつとるということではないんですかね。

○小川まち産業課長 はい。

○山本主査 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、次に参ります。

146ページから151ページ、農林水産業費で、林業費で何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、150から151の農林水産業費、水産業費で何かございませんか。

○守井委員 水産業振興費、負担金補助及び交付金で、漁業振興特別対策事業補助金が26年の170万円から510万円に増額されたということで、何か事業があったという感じなんですが、内容がわかればお願いいたします。

○小川まち産業課長 平成26年度は日生漁協さんのほうに冷凍庫を買うということで補助金を出しました。平成27年度につきましては、船の船外機、エンジンの取りかえ作業4隻分ということで、それに対して総事業費が918万円で、そのうち1基が918万円で、税抜きが850万円で、1隻分が市の補助金としては10%、85万円です。85万円掛ける4隻分ということで510万円ということになっております。

○山本主査 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、150から157ページ、商工費、1の商工費で。

○田原委員 153ページの負担金補助及び交付金の商工会、商工会議所の補助金1,000万円、どういう振り分けの1,000万円でしょうか。

○田原まち営業課長 平成27年度の補助金なんですが、全体の中で1,000万円ということで、商工会議所に500万円、商工会のほうに500万円ということで、それぞれの2分の1ずつを交付しております。

○田原委員 28年度、今年度まだ交付してないような話も聞いたんですが、その後交付されたんでしょうか。

○田原まち営業課長 交付手続に関する検討を行っておりまして、後日、商工会、商工会議所と調整をする予定にしております。

○田原委員 先ほどの500万円に関しても、その根拠を聞きたいんですよ。商工会はそのまま零細企業のための団体、会議所は別途会計で相談業務、零細商工団体への税務対策とか、そういう相談業務が県の約3分の1程度のをそれぞれの市町村がやっているというような交付要綱とか交付基準というのがあるはずなんです。それについてどういうようにお考えですか。

○田原まち営業課長 従前から補助金を減額した経緯もございます。前年度、26年度については800万円、それが減額で500万円ずつということになっております。特段の根拠的なものが、実際に事業を推進した金額以内ということで交付をしているわけですが、そういった積算根拠というものをつくらないといけないということで、今検討をしております。後日その検討について商工会、商工会議所と協議する予定にしております。

○田原委員 今11月ですよ。3月に予算を上程して、まだ支給してないというのはおかしいんじゃないかと思えます。それから、まして議会は6月議会で25年度並みに戻すようにという全会一致の決議がされとるわけですよ。そういう中で、いまだにまだそんなことをしとるというのは大変遺憾だと思うんですよ。見解をお願いします。

○中島まちづくり部長 本当に6月議会の決議につきましては、議員の皆さんから御指摘をいただいております。我々担当者といいたしましても29年度に向けてもできるだけ努力していきたいと考えております。

補助金を上げるということにつきましてはの約束というのは非常に難しいこともございます。やはり、市長が政治的に判断されたということでございますので、我々としてはそれに従わざるを得ないというふうなことも十分御理解していただけるのではないかと考えておりますけれども、今後商工会議所、商工会とその辺をきちっと詰めて、どういった補助の金額にするかというのもこれから十分検討していきたいというふうに考えております。

○田原委員 市長の政治的判断で減額されとるということはよくわかりました。そういう中で、決算というのは次の年度の予算編成の一つの指針になる審査だと思うんですよ。そういう中で29年度は市長選もある年であり、政策的な予算は恐らく当初は上げられないというような感じがするわけですが、25年度並みにということは、これはいわゆる政策というよりもむしろ経常経費的な補助金だと思うんですよ。それについてはどのような姿勢で予算編成に臨まれる予定

ですか。

○中島まちづくり部長 多分これは当初予算、市長選の6月の補正ではなくて当初というふうな考え方でいけるとは思うんですけど、これも財政と話をしていかなければいけないのかなとは思っておりますけども、経常的な経費ということになりますので、骨格予算にするべきではないかなと思っております。

○尾川委員 関連するんですけど、商工会議所と商工会と大きく出てきとんですけど、私は前から言いよるのが、OCCなんか補助金が100万円になって、もともと備前市と県とがするということで1人分の人件費を持つという約束で発足したわけです。だから、商工会議所も商工会もあれですけど、やはり備前市というのは耐火物と備前焼の町なんですよ。だから、そういう面からしたらあの施設は新製品、新技術の開発には欠かさんのじゃ。だから、その辺で商工会議所の問題もありますけど、ぜひ強う市長に、そりゃ市長は利益が出とるから何とかなるといふうな判断しとるけど、その辺の考え方は、やはり私ら製造会社勤めとったから、研究開発費というのは利益が出るから減らすといふうなもんじゃなしに、先行投資していかと、ある程度の資金を確保しとかと、会社というのは生き残れんのですよ。ですから、備前市もこれから何で食べていくんらとということを考えたときに、やはり耐火物の技術を底辺にやはり活用していく、新しい企業誘致もあるでしょう。だけど、企業誘致にしても限界があるわけです。だからそういう面で本当に力があるそういう周辺の技術を活用するためには、やはり無駄になるように見えるけれども、やはり投資していくといふ考え方、その辺を部長、前も何回も聞いとんですけど、その辺もよう認識してもらって、もう一つ言わせてもらったら、山陽新聞の6月の耐火物生産という記事読んで、どういふうに思われとんか。これは総括でも言いますけど、昔の話を書いとるわけです。ですから、市の担当者もちったあこの文言をチェックしてもらって、それこそ昭和40年代の話をしよったんじゃ、話にならんわけですから、もう現状がどうなっとなつて、今の耐火物がどういふう貢献しとるかということを認識せんだらおえん。そういう感覚で新聞記事を読んでください。

やはり、補助を出すんなら、商工会議所、今事務局を持つとんじゃから、こういう記事はおかしいぞとか、いろんな指摘を、そりゃ担当者の人の読み方によって違ってくると思うんですけど、そういう指摘をしてもらわんと、耐火物に勤めた者からしたら、こんなん読んだら、いつまでそんな昔の話しよんならということになるわけですよ。だから、その辺も一遍よう読んでもらうて指摘してもらわんと。だから、部長、その辺の考えを補助金も含めて答弁してもらいたいと思います。

○中島まちづくり部長 済いません、それはいつの記事ですかね。

○尾川委員 一般質問しようかと思うて準備しとったんですよ、6月11日の山陽新聞ですよ。これも定期的に、適当に今ごろは記事も小もう小もうなつて生産量も何カ月かに一遍出てきよるけど、6月11日は結構大きく取り上げられとんですけど。

○中島まちづくり部長 本当に非常に難しい問題だと思いますけれども、やはり昔から基幹産業

として備前市を引っ張っていただきました耐火物につきましては、本当に備前市の主産業であったというふうに思っております。

それから、時代の変遷と流れによりまして、精密機械とか運送会社とか医薬品製造業とか、そういった多種多様の工場が来ております。本当に備前市は人口3万5,000人ぐらいですけれども、近隣の市町に比べますと本当に大きな企業に進出していただいております、大変恵まれているという状況にはございます。

そういった中で、今回新たに企業誘致をして物流の関係の業者さんも立地協定をしていただいたということがございます。なかなか産業、こういったところに重点を置くかとか、どういうふうな形になっていくかということにつきましては、非常に難しい問題もありましょうし、時の流れ、時勢に応じて企業さんも考えていくというふうなこともあろうかと思えます。

確かに、パナソニックさんが来ていただいて、半導体の景気が悪いということで撤退されたということもございます。そういった中で、備前市としても本当に進出をしてくださっている企業さん、これをもっと大事にして、本当に備前市に末永くいていただけるように努力していきたいというふうには思っております。

○尾川委員 答弁にはなっとらんけども、要はもう少し力を入れて、備前市はこれから何でやっていくんたらということをよく認識してもらいたい。

それで、長うなるけど、RESASの説明会があったと思う。備前市を分析しとると思うんですよ。それ見たら、製造業を占める割合というのがもうはっきりしとるわけ。だから、正面向いて仕事していかんと、もっと現実を理解して対応していくと。そりゃもう確かに夢見て新しい企業のことすりゃええけど、今のやつをどうやって伸ばしていくかということもやはり市のほうも考えてもらわにゃ、もう技術のことわからんからというて逃げてしもうたらおえんと思うんですよ。その周辺企業ですから。耐火物があつて運送業が出てきた、運送業があつて金型屋ができてきた、原料屋ができてきた、いろんなことが派生的にずっと、周辺ですが、皆。何がメインかというのを考えて、ベアリングにしてもそうですよ。だから、そんなんでも関心持って、どうやって育成していかん長う備前市におつてもらふかということ市の人考えんなら、会社は自分の経営のことばかりで市のことやこ考えんですから、はっきり言って。だから、市のほうはどうしていくかということ、人をどうやって引きとめていくかということを考えてもらわんと、一番大事な問題だと思ふんで、長うなるからその辺で意見として、同じことになるんで答弁よろしいですから、その辺対応をしっかりしてほしいと思えます。

○中島まちづくり部長 RESASにつきましては、今庁舎内に勉強したいといった職員でチームRESASというのを立ち上げております。いろいろ経済産業省のソフトの使い方とかそういったものを勉強して、いろんな各種分析を行おうということで取り組んでおります。成果的にはまだできておりませんが、そういった形で少しずつ職員が勉強していただける機会になればということで頑張っておりますので、その点は御理解をいただきたいと思えます。

○田原委員 企業立地促進奨励金1,800万円の3社の企業名は。

○**田原まち営業課長** マルナカとコスモスとコーワンさんです。ちょっと正確な金額は固定資産税の関係がございましておおよそということで、マルナカさんが1,200万円、それとコスモスさんが約400万円、コーワンさんが約200万円でございます。

○**石原委員** 1ページ戻るんですけども、153ページの需用費のうち、印刷製本費263万9,685円ですけども、恐らく商品券に係るものかなとは思いますが、これの内訳をお教えいただければと思います。

○**田原まち営業課長** まず、プレミアム付商品券の印刷代が208万2,294円、住宅リフォームの助成地域振興券の印刷代が34万5,600円、「広報びぜん」の印刷代4万1,810円、あとその他でございます。

○**石原委員** それから、負担金補助及び交付金のうち、商品券交付金で4億8,664万5,500円です。これまで商品券が使われたお店のベストファイブあたりは一般質問、委員会等でお尋ねをしてお答えをいただいておりますんですけども、これも結局市がある程度負担した分で市民の方が使われとる金額ですので、ベストファイブと言わず、全てのお店を網羅した資料を提示いただければと思います。かなりの加盟店があるかと思うんですけども、それら全てを網羅した一覧表のような資料をいただいて、今後もし再度執行部のほうからこの種の事業提案あったときに大きな判断材料とさせていただければと思いますので、いかがでしょうか。

○**田原まち営業課長** 全ての売り上げ等の明示ということにつながりますので、個人商店の関係もございまして、どこまでの資料が提供できるかということをちょっと検討させていただきたいと思います。

○**石原委員** いろいろ課題もあるのかもしれませんが、とにかくこの種の事業に対して執行部、市長の説明では中小企業を含めた市内の企業、会社、商店等を支援して消費喚起を促していくんだという御説明が常について回りますので、であるならば、果たしてどこまでその効果が、それを見ただけでは判断つかないかもしれんですけども、購入された方、配付を受けた方が実際にどういうお店で使ったんだということが少しでも見られればと思いますので、ぜひ課題をクリアして前向きに御検討いただければというふうに思います。

それから、その下です。住宅リフォーム助成地域振興券交付事業、こちらも今年度枠も拡大されて好評かとは思いますが、27年度として2,018万9,000円が計上されています。こちらは振り返って改めて教えていただければと思うんですけども、当初予算、補正で幾ら組まれて、結局幾らの事業だったかというところ。

○**田原まち営業課長** 申しわけございません、恐らく当初予算で1,000万円、1,079万7,000円を補正しておると思います。支出が2,018万9,000円となっております。〔後刻「当初が500万円、9月補正で2,000万円の増額、2月補正で420万3,000円を減額し、予算現額を2,079万7,000円」と訂正あり〕

○**田原委員** さっきの実績リストをぜひ私も見たいんでお願いしたいと思いますので、委員長のほうからもぜひよろしくお願いしたいと思います。

○山本主査 どこまで出せるのか出せんのかを会議開いてもろうて、出せるもんを出していただきたい。

○田原まち営業課長 法律等に抵触しないということであればお出しできると思います。

○山本主査 お願いします。

○石原委員 そういうリストがもし出るのであれば、法に抵触せんのであれば、あわせて住宅リフォームの地域振興券ですか、それがどういうお店で使われとるかというのも可能であればですけども、この席でお願いをしておきたいというふうに思います。

○山本主査 157ページまでで。

○石原委員 観光についてなんですが、これも毎年添付されとるかと思うんですけども、予算決算審査委員会資料のうち、36ページに県内観光地の観光客の推移が掲載されております。これもどういう数え方をされとるのかかわからんですけれども、ここのうち、赤で囲んでいただいています閑谷学校、ぱっと見てこちらの平成27年の動きが本当に大いに気になりました。県内ほかの観光地に比べても対前年比で80.7%ということで、これはもうワーストの率となっております。振り返れば平成27年でしたか、日本で初めての日本遺産にも認定をされたという流れがあったと思うんですけども、それにもかかわらずこのような状況をどう捉えておられるのか、見解をお聞かせいただければと思います。

○田原まち営業課長 こちらは県の観光客動態調査ということで、閑谷学校だけではなくて、閑谷学校を含む備前エリアの調査施設の集計の結果でございます。閑谷学校のほうの入場者数は日本遺産に認定されてから若干ふえているとお伺いしております。

調査施設の県のとり方の変更があったりといったことで、若干前年度と同じ施設をとっているかというところもあたりすることもございますが、全体として減っているという形になっております。

○石原委員 入館者でいきますと、平成26年と27年比べますと、今わかりますか。

○田原まち営業課長 入館者についての資料は今持ち合わせておりません。

○石原委員 わかればまたお教えいただきたいのと、この調査の数字もどこまで確証があってどこまで信憑性があるのかなという思いもするんです。以前いただいておった資料では、年次ごとの数値が全然違って次の年には出てきたりということもありますんで、この表自体についてもちょっとよく検証いただいて、誤解が生じるようなこともあり得ると思いますんで、この表自体についてのあり方についても今後御検討いただければというふうに思います。出るのであれば、わかりやすい信憑性の高いものをいただければというふうに思います。いかがでしょうか。

○田原まち営業課長 これは従前から県の調査ということで、こういった施設について入館者等入場者、参加者等を調べてほしいということの積み上げの結果になっております。また市のほうで、例えば宿泊者数の調査であるとか、そういった有料施設の入場者数であるとか、そういった確実に数値がとれる部分について調査するようなことも考えていきたいと思っております。

○田原委員 委託料で、観光施設維持管理委託料780万円とあります。この観光施設というの

はどどこでしょうか。

○金藤吉永総合支所長 こちらは、大きく分けて7カ所ございます。そのうち2つが八塔寺川ダムの周辺、それから上流、中流でございます。あとは八塔寺ふるさと村付近、それから和意谷青少年自然の家、それから駅前でございます。

○田原委員 それはどんなことをして何ぼ払うとるかということ聞きよるわけよ、決算じゃからね。

○金藤吉永総合支所長 これにつきましては、草刈りであるとか草抜き、植栽木の剪定であるとか、そういうものを基本的には年2回行っております。

八塔寺川ダムの周辺につきましては、これは先ほど歳入のほうで御質問があった県の委託金の分でございます、354万2,400円、それから八塔寺川ダムの中流、上流、これにつきましては204万1,200円、八塔寺の公園につきましては91万8,000円、それからこれも八塔寺地内でございますが、道しるべ公園、これが42万1,200円、八塔寺山荘の周辺が58万3,200円、和意谷青少年自然の家周辺が22万4,640円、それから出合いの広場、これが駅前でございますが、これが7万円、以上でございます。

○田原委員 次のページの観光施設整備工事2,700万円、これは頭島のレストランじゃと思うんですけども、新しいの結構なんですけども、市がもやい茶屋を漁協へ払い下げたわけですよ。あれは郷土料理伝承館という形で県から補助金をもらって作った施設。それを漁協へ無償で貸与しとったのを、今無償払い下げたんですね、譲渡した。ところが閉め切っているんですよ。その辺について行政指導をできないものだろうかという気がするんですけども。

○星尾日生総合支所長 委員御存じのとおり、4年ほど前ですか、もやい茶屋を漁協さんのほうに無償譲渡したということで、譲渡の契約内容につきましては、3年間は続けておったということで、3年間は過ぎました。それで今利用していないような状況なんですけど、今漁協さんのほうから新たなところへ貸し付けてもいいかなというふうなことで、要請がありました。それで、これは払い下げから財産管理係が担当しておりまして、そちらで現在検討中ということで、再利用の可能性はあるということだけ御承知願えたらと思います。

○尾川委員 157ページの観光看板作製設置業務委託料で51万8,000円上がるとるんですが、どこの場所のどういう内容なんですか。

○田原まち営業課長 これは日生大橋本土側の国道沿いのところに、頭島、鹿久居島はこちらというような道路標識の観光看板をつけております。そちらが35万6,400円、それとつながりの西休憩所で備前焼の看板を16万1,768円で作製しております。

○尾川委員 説明があつて違ふとわかつたんじゃけど、岡山空港とか岡山駅につけるのとは、また違ふんかな。

○田原まち営業課長 また別のものがございます。そちらのほうは、別の予算でお願いしております。

○尾川委員 別の予算の話なんですけど、ああいうのはいつまでも継続してやるという考えな

ん。そりゃあもうあいとるから入れてくれと言やあ、おつき合いでやらにゃいけんと思うんですけど、いつまでも続けてやるという考え方なんですか。

○田原まち営業課長 費用対効果という面がございますので、毎年度検討はしております。今年度につきましては、岡山空港についてはもうやらないという形でやっております。

○尾川委員 それから海水浴場の費用が、サメとかの分ではらばらで出てきとんですけど、実際のくらい利用者があるんですか。というのが、瀬戸内市の海水浴場やこやめたいというたりするのを聞いたこともあるんですけど、本当にやめとんかどうか、どの程度今日生の海水浴場利用者おるんですか。

○星尾日生総合支所長 頭島の外輪の海水浴場、ちょっと人数は調べているんですけど、今ちょっと資料を持ってないので、後から説明させていただきます。（後刻答弁あり／21ページ）

○田原委員 観光協会の補助金30万円ですが、3つの観光協会を1つにして、そのときに市の担当者も参加して合併しなさいということで、一つの観光協会にしたわけですよね。そのときに、少なくとも1,200万円から1,500万円ぐらいの市からの補助はあると。それは必要だという結論の中で合併しておきながら330万円ということなんですけど、これでやっていければよんですか。去年県に支払う岸壁の駐車場料金が払えないというたりして苦情を聞いたことがあるんですけども、その辺の観光協会の決算状況なんか持っとられるんですか、報告があるんでしょう。あつたら見せてほしいんですが。

○田原まち営業課長 観光協会のほうからは、今の補助金では少ないのでふやしていただきたいような旨は口頭でお伺いしております。330万円なんですけど、備前、日生、吉永とも25年度から全て同額を措置しております、その際に合併統合に向けた事務的な費用が必要であろうということで50万円ほど上乗せで補助しております。その補助分も含めた額で据え置きということで交付をさせていただいております。こういった事業をやっていただくかということは今後観光協会ともお話をしながら進めてまいりたいと考えております。

○田原委員 合併のときにいろいろ約束もしたんでしょうし、またこれからの展開、今事務局が日生にありますけども、それを備前焼が主なら備前焼とのタイアップとかその辺がどうなっているのか。今は何か旧日生の観光協会の剰余金で何とか運営しとるような話も聞くんですけども、その辺の話もしっかり協議しながら、いつも市の何かで見ると、観光推進、観光振興とかということばかりが出てくるのに、実際こういう状況だということで心配をしております。よろしくお願ひします。

○田原まち営業課長 今後よく協議して、観光振興を進めてまいりたいと思います。

○尾川委員 先ほど質問も出たんですけど、観光地の観光客数の推移というのを出とんですけど、これよう見たら事務局がつくつとるんで事務局に言わないけんのかもしれんけど、要するに閑谷学校の入場者数をこれに加えてほしいんですわ。要するに、入場者数と閑谷学校へ来た人というのはまたこれは数字の違いがあると思うんですけど、入り口まで行って入らずにいうのもあるかもわからんですけど、今言う県の調査と閑谷学校の入場者数をお願いしたいんです。もっと具

体的に備前市内の観光客の把握をもっとしてほしいという気はあるんです。

○田原まち営業課長 今後また調査をして、特に有料施設とか人が入るところじゃないと把握ができないので、そこら辺の調査をして報告させていただきたいと思います。

○小川まち産業課長 石原委員の御質問に答えることができなかったんで、ここでちょっと説明をさせていただきます。

まず、水稻獣害防止施設設置助成金が64万円からゼロになったのは、水稻共済の加入者の方が東備共済のほうへ申し込みが6月までという期限がありまして、6月までの申請がなかったんで、64万円というお金がゼロになりました。

それと、森林保全再生事業補助金の精算金と水源林立木売払収入というのは関係しておりまして、27年度は水源林の整備をする必要が余りないということで、その精算金として83万円、その補助金83万1,000円を予定していたものがゼロになったということと、それにあわせて伐採してそれを搬出して売り払う収入も、当然整備活動がなくなったんで、収入もなくなったということで87万円という金額がゼロになったということでもあります。

以上でございます。済いませでした。

○石原委員 水稻の関連で、6月以降、そんな知らなんだわとか、そんなあったらもっと教えてくれりゃあよかったのにとか、その可能性は。

○小川まち産業課長 そういうこともありまして、28年度からは市といたしましても共済のほうにお金をもらうように申し込んでおります。それとあわせて、規格に合わないようなものについては、市の単独での補助金、鳥獣被害に対する防護柵の材料費に対する補助金を設置しております。

○山本主査 それでは、分科会を休憩いたします。

午後0時05分 休憩

午後1時00分 再開

○山本主査 それでは、休憩前に引き続き分科会を再開します。

○田原まち営業課長 石原委員から御質疑を受けました住宅リフォーム助成地域振興券の交付事業の予算額の推移の発言にちょっと誤りがございましたので、ここで訂正をさせていただきます。27年度の当初が500万円でございます。その後、9月の補正で2,000万円の補正を行いまして、最終的に2月の補正でマイナス420万3,000円を行いまして、予算現額を2,079万7,000円といたしております。訂正しておわび申し上げます。

○星尾日生総合支所長 尾川委員の御質疑で海水浴場の入客数なんですけど、頭島外輪海岸にてちょっと報告させていただきますと、平成27年度岡山県の観光客動態調査の報告書見ますと、27年度が外輪海水浴場、頭島なんですけど2,010人、本年度清掃と監視を含めて7月16日から8月15日まで、時間は平日が10時から15時まで、土日祝祭日が9時から16時までの間で実数を調べてみますと、2,268名でございます。これ以外にも海水浴場にいられた方を見ると本年度で大方2,500名ぐらいは来られとるんじゃないかなというふうに思ってお

ります。やはり橋がついたことで若干ふえとんじゃないかなというふうな気はしております。

○山本主査 それでは次に、156ページから159ページ、土木費、土木管理費で何かございましょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、158ページから163ページの土木費の道路橋梁費で何か。

○守井委員 負担金補助及び交付金で、道路河川等ボランティア推進事業補助金ということですが、27年度は何団体で整備したのでしょうか。

○尾野田まち整備課長 ボランティア団体の団体数でございますけども、57団体で1,677名でございます。

○守井委員 前年度あるいは今年度に向けてだんだんふえておるような状況になっているのでしょうか。

○尾野田まち整備課長 26年度に比べて1団体ふえております。

○尾川委員 159ページ、いろいろ期成会がありますでしょう。前から期成会の会費を減らしたりしとると思うんですけど、この期成会の活動というのは今後どういうふうに考えとんか、なかなか連携していくというのも難しいところがあるし、そうかといって備前市も単独で動くといってもなかなか国のほうも動いてくれんじやろうし、今後どういうふうにしとんか、期成会の活用について、やはりいろいろ国道2号とか250号の問題とかあるんで、そのあたりの取り組みというのは、行政評価をシート見りゃええんですけど、このわずかな金額なんですけど、どういうふうに考えてある面共同して取り組まにやいけんし、ある面備前市単独で動かにやいけんといふことは非常に難しいこともあると思うんですけど、ちょっとその考え方を教えてもらいたい。

○尾野田まち整備課長 期成会なんですけど、やはり道路改良等、備前市も補助事業がありますので、それを進める上では必要なものかなと思っております。特に、国道2号につきましてはこの負担金が20万円で一番多いんですけど、これ岡山県東部ということで、備前市中心にやっておりますので、この辺で頑張っていきたいというふうには考えております。

○尾川委員 250号にしても歩道が途中でとまったりしとるし、片上寄りもそうだし、穂浪側についてもほとんど歩道がないような状況であの辺も整備していかなと、県のサイクリングが津山から日生というルートもあったり、構想はあるんですけど、具体的にどうせ250号の歩道が絡んでくると思うんですけど、そのあたり前向きに、結構金剛川沿いの和気の県道岡山赤穂線か、あの路線も日笠川の橋のかけかえをしてくれよるんですが、県の事業だと思わんですけどね、10年、20年かかってでもやっていくためには今から一歩、二歩進んでいきよらんといけんと思うんで、ぜひ頑張ってやってもらいたいと思うんですけど。

○尾野田まち整備課長 やはり補助事業を採択していただくように活用していきたいと思っておりますので、今後とも期成会につきましては今までどおり活用してまいりたいと考えております。

○石原委員 159ページの委託料、道路台帳補正業務委託料502万2,000円が計上されておりますが、こちらも当初予算が300万円で計上されておって、かなりの規模の増額という

ことで、この状況を教えていただければと思います。

○尾野田まち整備課長 道路台帳整備の委託料ということでございますけども、道路台帳の整備につきましては、前年度に工事したものを次の年度で道路台帳整備をするようにしております。今回のこの増額なんですけども、平成25年度には道路台帳補正する箇所が少なかったということで、その金額を繰り越ししております。26年度に日生頭島線が開通しましたので、これとあわせて27年度で一気に2年分の道路台帳補正を行ったということでございます。

今後とも2年に1回台帳の補正をしていくほうが効率的と考えておりますので、そういう方向で進めていきたいと考えております。

○尾川委員 道路橋梁費の需用費で、不用額36万6,000円、28年の予算を見ても余り落としてないんですけど、総額340万円に対して36万円も不用額があるというのはちょっと多いんじゃないかなと思うんですけど、そのあたりはどういう状況じゃったんですか。

○尾野田まち整備課長 この需用費には燃料費とか光熱水費が含まれております。この辺のもくろみ的に不用額が多くなったと考えられます。

○山本主査 それでは、162ページから165ページ、土木費、河川費で何かございますか。

○石原委員 163ページの委託料ですが、草刈り作業等委託料39万9,600円、河川費におけるこの草刈り作業委託料というのはこのどのスペースの草刈り業務なんですか。

○尾野田まち整備課長 主に香登川の草刈りと三石地区の河川の草刈りです。内訳ですけども、香登川が19万4,400円、三石地区の草刈りということで20万5,200円です。

○山本主査 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は、164、165ページの土木費で港湾費。

○尾川委員 東備港片上港区管理委託料というのは、数字が上下するんですけど、要するに荷役の量によって管理料という委託料が変動するという解釈でええんですか。

○尾野田まち整備課長 荷役の動きによって金額が変わると、扱い量によって変わるということです。

○尾川委員 要するに埠頭開発に委託料として支払いするということですか。

○尾野田まち整備課長 そのとおりです。

○田原委員 負担金補助及び交付金の中で、港湾改修県工事負担金。県改修工事の実態がどうなってるのか、日生を途中やめをして、片上のほうへ移ったようにも聞いていますし、今後どういうふうにしてやっていこうとしているのか、わかれば説明してほしいんですけど。

○尾野田まち整備課長 今後ですか。ちょっと私も異動して1カ月たたないので、ちょっと詳しくはわからないんですけど。

○田原委員 後で教えてください。日生の南地区、今物揚げ場にしとるところの道路を広げるからということで、野積み場を狭くするというところで地区住民とトラブった経緯があるんですわ。それで、川淵前副議長と川崎議員が中に入って、県議を通して土木部長を呼び出したりして、い

ろいろトラブルっとなですわ。その後、どういうふうになつとるのかということがまず第一点。

その工事を進めていくと、中州川の出入り口に大きな強制排水するポンプ場をつくらんといかんと。ポンプ場をつくるのはええけど、維持管理は市で持ってくださいよということになつとる。そのことについてどういうふうになつとるのか。

それから、全部を済まさんとこの工事は効果がないわけ。どっからでも水は入ってくるわけじゃない、海の水は。そやから不要じゃないかという意見が橋本議員含めてどんどん言うところ中で、中州川の水をせきとめるには、海から入ってくるのをせきとめるためには強制排水するポンプ場が要るわけですわ。そういうような全体計画についてどういうになつとるかということで、余り要らんのじゃないかという工事をどんどんしとるといふ批判をされてきたじゃない、今までね。それを今後どうしていくんか。湾戸のほうまで全部する計画ではあるけども、それがどういふふうになつていくんかね。

○星尾日生総合支所長 南小路の件なんですけども、あそこの駐輪場を撤去する費用をとったんですけど、2カ年繰り越ししても、話がまとまらないということで、そのままになっております。ですから、県のほうも多分南小路よりを今のところ諦めてとりあえず栄町の日生市民会館から駅にかけてを今後進めていくようなことを聞いております。そのようなことで県とまち整備課と話をしたりとかということを確認したり、町内会長と話をしたりしたことが去年ございました。

○田原委員 来年の予算のときにも当然聞かれる話なんで、今後どういうふうにしていこうとしよるのかということをお願い課長も調べといてください。回答は後で結構です。

〔「わかりました」と尾野田まち整備課長発言する〕

○山本主査 それでは、164から167ページの土木費、都市計画費。

○守井委員 委託料です。土地区画整理事業検討業務委託料が27年度に上がりましたけれども、その前年度に廃止方向で検討するというお話も聞いておったんですけども、方向性は現在どのようになっておるのでしょうか。

○尾野田まち整備課長 土地区画整理事業の検討業務ということでしてきております。廃止という方向で県とも協議をしましたが、廃止するのならそれにかわる計画を上げなさいということをお願いしております。その計画がまだできていないので、ちょっと今の段階では進んでないような状況であります。

○山本主査 それでは次に、166からの土木費の住宅費。

○守井委員 171ページ、住宅建設費の解体撤去工事。現在撤去している分になると思うんですけど、27年度で何棟の撤去をされたんかお教えいただければと思います。

○尾野田まち整備課長 15棟で44戸です。

○守井委員 28年度は引き続き都合によって解体する予定があると、居住人との話し合いというのを聞いてとんどですけども、28年度以降についてはどのような考えでしょうか。

○尾野田まち整備課長 今後につきましては、空き家が進めば、解体撤去していきたいというこ

とを考えております。

○石原委員 169ページの住宅管理費、償還金利息及び割引料のところで、過誤納金償還金12万7,200円の御説明をお願いしたいと思います。

○尾野田まち整備課長 平成26年度の家賃算定に誤りがありましたため、過誤納還付をしたということで1名分です。

○山本主査 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、208ページ、209ページの災害復旧費、農林水産施設災害復旧費で何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、208ページ、209ページの公共土木施設災害復旧費で何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、210から211ページ、その他公共施設・公共施設災害復旧費。

○守井委員 災害はどこだったんですかね。

○星尾日生総合支所長 これは、まほろばの管理道が7メートルほどずれて復旧したものでございます。

○石原委員 災害復旧工事（単独）、89万6,400円。こちらの工事についての御説明をお願いしたいと思います。

○中島まちづくり部長 この工事につきましては企画課の所管でございまして、ちょっと事情をお聞きしますと、台風11号による光ケーブルの復旧工事ということをお聞きしております。

○山本主査 ほかに、よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、210、213ページの諸支出金、基金費、積立金のうち、大ケ池管理基金積立金、中山間地域保全基金積立金、架橋準備基金積立金で何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは最後に、212ページ、13ページ、諸支出金、諸費、地方創生事業で何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、全体で。

○尾川委員 157ページの備前陶芸センター運営補助金。補助金の問題がいろいろ出てきとんですけど、これも県の施設で今どうなっとんか、県の施設を継続して備前市が受けとるといようなことなんですけど、かなり老朽化しとるし、設備も適当な時期にはそれなりにやっていくといようなこと、埋蔵文化センターの上にあって、部長行かれたことある。

○中島まちづくり部長 何回か行かせていただきまして、状況を見させていただいております。

○尾川委員 行かれとるならわかるんですけど、事務局がどうこうというんじゃないんですけ

ど、やはりそれなりの施設にして、あそこで観光客を受け入れて作陶してもらうような仕組みにしたり、外国人が結構興味があるというなことも聞いたことがあるんで、それなりに県との交渉もあると思うんですけど、県もよう手を退いたな思うんですよ、私個人的にはね。その辺でやはりこれ200万円と250万円、240万円が200万円になって、250万円になってきとるようなんですけど、そのあたりもっと陶芸センターの活用というのを、私一般質問でもしたんですけど、臼井先生にちょっとアドバイスをしてもろうたり、ミュージアムとの連携とかいろんな形の、この間もいろいろ人に聞いたら、ほかの観光地なんかは結構焼き物のところはポイントがあるらしいですよ。要するに、備前市だったら1カ所しかねえとかというのは、1カ所しかねえということはねえんですけど、その辺がもう一般に理解できてねえというか、余りきちっとした広報をしてねえということがあると思うんで、やはりその辺で市長はなかなか執行部の言うこと聞いてもらえんような雰囲気ですけど、私もここで言うしかねえんで、こういう意見があったということで補助金の見直しとか、そういった備前焼にどの程度費用がかかるとんか、そりや前に部長が観光客に説明するのにまとめられとった経緯も記憶があるんですけど、それをきちっとやって、やはり備前焼の振興ということを全体で捉えてやっていただきたいと思うんですけど、ちょっと部長の意見を。

○中島まちづくり部長 この陶芸センターにつきましては、県から無償で貸与ということなんです。実際、私どもも見に行きまして、かなり老朽化が進んでいるという現状は把握しております。実際にその建物をいらうとなると、県の許可等が必要になってくると思いますんで、我々もこの建物を何とかして活用していきたいという気持ちは十分にあります。今後、県としっかりと協議して、市のほうで予算がつくかどうかわかりませんが、やはり備前焼を育てていく、やはり引き継いでいくというには欠かせない施設でありますので、その分については皆さんとよく協議をして、できるだけしっかりとした、もし改修ができるのであれば進めていきたいなという気持ちで思っております。

○尾川委員 窯元もあったり、いろいろあるんです、特化するいろんな行き方というのがすみ分けして、陶友会なら窯元の振興したほうがええかもわからんですけど、やはり市全体としてもまああいう施設をして売っていくというふうなことも必要なんじゃないかと思うんで、ぜひほかの補助金も絡めて見直して。備前市の財産じゃと思うんですよ。県にも手を離すようなまねをせず、もっと産業振興をといてよう県知事も言いよったんじゃから、ちいと目を向けてもろうてやってもらいたいと思うんですけど。答弁はよろしいですわ。

○森本副主査 145ページの農地費の委託料で耐震診断調査委託料、これため池のことなんですけど、小さいため池で今現在市が掌握されている危険箇所って何カ所ぐらいあるんですか。

○小川まち産業課長 危険箇所の基準というのがちょっとよくわからないんですけど、今できている耐震基準というのは、南海トラフ地震に対しての診断なんかをよくやって点検をしているんですけど、市内の池はほとんど阪神・淡路大震災以前につくられている池が多いんで、南海トラフ地震に対する耐震性とか安全性がある池というのは、正確な数はちょっとわからないんで

すけれども、少ないと考えております。備前市全体で約345池あります。

○森本副主査 これ地元負担も小さいため池だったら絡んでくると思うんですけど、農家の数が減少していく中で、地元負担が今後厳しくなってくるのも考えられると思うんですけど、それ今後市はどういうふうに対応していこうと考えておられますか。

○小川まち産業課長 農家の数が減っていかれるイコール田んぼの面積、耕作面積も減っていくということだと思うんです。そういう中で、池の貯水量も少なくてもいいと思うんです。市としては、余水吐けの部分を切り下げるようお願いしていております。それは、防災事業につながることで、負担金は取らない方針でおりますので、その方向でよく要望書は出てくるんですけども、余り水が要らないでしたら、樋を抜いて水位を低くしてください、余水吐けを切り下げる工事をしませんかと、そういうふうなお願い及び呼びかけをしております。

○尾川委員 155ページの地域振興費、商工振興費の中の地域振興活性化事業補助金、決算は702万ということなんですが、ことしの予算見たら、たしか2,000万円になっとなんて。担当者としたら、そりゃまあ市長がこうせえというて言うたからしとんじゃろうと思うんじゃけど、どういうふうの評価しとんか。今後も来年の予算、この2,000万円が2,500万円になるんか、あるいは1,000万円になるんか知らんけど、そろそろ立ちよんじゃと思うんじゃけど、これは今後どうするべきかなと。例えば、備前焼まつりにしても決算も出とるけど、市としたらどういう形で備前焼まつりをやっていこうしとんか、そりゃ実行委員長、市長ですから、市長責任というか備前市関係ねえということないんで、前とやり方変わってそのあたりどういうふうを考えとるんか、ちょっとその考えを教えてくださいと思います。

○田原まち営業課長 地域活性化事業補助金でございますが、26年度までは各課に分かれた事業もございましたし、観光あるいは産業振興という分野において、主に現在は観光に資する、地域活性化に資するというので、事業をまとめて審査しております。

以前は課が分かれていたものを個別審査ということでやっておりましたが、今現在は一括で審査制度を設けまして、ある一定の基準のもとで審査して事業化していただいているということでございます。

今後においても、こういった形で効率化を含めて考えていきたいと思っております。また、例えば備前焼等の事業に関しましては、やはり補助事業でございますので、あくまで自主材源を確保した上でやっていただきたいなというような考えで、補助対象事業者のほうにはそのようにお伝えをさせていただいております。

○尾川委員 ですから、次の申請があったときに、総事業費のどのくらいを補助金として考えとんかとか、それから評価して、例えばことし28年度の結果をもって29年度の予算を立てるとか、その辺の考えというのは、ただ旧来から備前焼まつりじゃったら、決算書見たら200万円が220万円になっとなんですけど、そういう金額というのは、やりとりというのはどういう形でやろうしとんのですか。それこそ、相手を見てやるということですか。

○田原まち営業課長 これは、審査の中で出てきた事業に対して認める認めないという形がある

とは思いますが、ある一定基準を設けて審査をしております。その部分については、広く市民の融和を図るものであるとか、観光の振興を図るもの、地域産業の振興を図るものとしておりまして、需用費ではこういったものにしていただきとか、備品はこういったものには充てないでくださいというような形で審査をしております。

○尾川委員 要するにもっと本当にこれから市として活動してもらいたいというものもあろうし、それから旧来のものを継続してほしいというものもあろうし、そのあたりを見定めてやっていただきたい。要するにもう少しようきちっとした見方で、本当に地域に偏らんとか、あるいは事業に偏らんとかというふうにもっと公平にできるだけ地域によってひがみがないように取り扱って、きちっとした運営をして、新しい事業が入ってきよんかどうかというのがちょっとわかり切らんのですけど、その辺を気をつけてもらいたいのと、28年の決算報告書を見ても、委員長の名前がフルネームじゃねえ、こんなもん通るんかどうか、それから幹事の名前が名字だけだとか、これは捺印する前の段階でというんか、その辺はどんなんですか、こんな書類は。公文書として出た、公文書になるんかようわからん、私文書かどうか知らんけど、事務局がつくった書類、これは。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ほんならええんじゃけど、今見たらこんな、あんたら見とんかも知らんけど。

○田原まち営業課長 こちらのほうには正式な名前が入っているものがございまして、取り急ぎ複写したものを提出しているという状況だと思います。数字については同じ数字で入っております。

○山本主査 よろしいかな。

ほんなら、1個だけ聞かせてもらおう。

○森本副主査 主査をかわります。

〔主査交代〕

○山本主査 私、ちょっと最近気になつとんですけど、全体的なことなんですけど、下水道の工事がここ3年ほど全然徳当から北へは行ってねえ、伊里中とか木谷とかというほうへ。いろいろ費用もあっちやこっちへ要るんじゃろうけど、それが気になつとります。よう言われるから言うんですけど。

それから、最近個人企業が自分で市へ許可もろうて、道路の立ち上げをして、危ねえからというてガードレールも抜いて建てかえして、舗装もしたり、そんなことはやはり市へ相談したらある程度部分的に補助したるとかというようにせなんだら、私らいつも通りよって、議員として恥ずかしい。おはようございますが言えんように知らんふりしてから通らんといけん。そこら周りもやはりさっき言われよったように、公平というか、ある程度、3年たったらこの工事はできますよというたりするようにとか、企業はすぐしてせなんだら、事故があつたら、自分ところの従業員がこけたら困るからというたりするような感じで、担当はよう知つとんじゃろうけど、そこら周りもぜひ配慮をというか、相談を受けるように、紳士でおとなしいからほつちらかしとつ

て、許可だけをして自分とこの金でしたらええというて、できるところはええけど、そこら周りもよろしゅう公平にずっと予算を、余りまいたらばらまきじゃというて言われるけど、そこら周りよろしくお願いします。

○尾野田まち整備課長 企業が工事されている部分につきましては、工事施工承諾という申請が出てきたものについて工事をされているものだとは思われます。企業だけじゃなくて地区にとっても重要なものであれば、市としてはやっていくべきことだと思いますので、その辺は相談に乗っていただけたらと思います。

○山本主査 まあ見てもらったらわかるけど、誰が見たってこんなものは公共事業でせにゃいけんというところと思いました。

○尾野田まち整備課長 そういう相談がありましたら、現場のほうに見に行かせていただいて確認させて、対応できるものにつきましては対応させていただきます。

○山本主査 よろしくお願いします。

○森本副主査 よろしいですか。主査を交代します。

〔主査交代〕

○山本主査 それでは、以上でいいですか。

○石原委員 せっかく有害鳥獣についての資料を提示していただけていますが、歳出の機械器具備品のところで、有害鳥獣処理装置1, 777万6, 800円となっています。この装置は稼働して有効に使われとんどですか。

○小川まち産業課長 10月21日現在で44頭です。実際に使用基準とか許可基準とか許可証とかを考えて、稼働し始めたのが5月の末からなんで、土曜日、日曜日、祝祭日は人がいないんで、平日に限ってということで、約2日間に1頭という割合で稼働している状況であります。

○石原委員 5月末からの約5カ月間で44頭ということで、ここの説明書きの括弧では1日200キロは処理できますよということなんですけれど、これが何頭に当たるんかちょっとわからないのですが、やはり当初の見込みよりもまだ有効に使われてないような状況が見てとれるんですが、少しでも有効に使うためにはどのような課題といいますか、クリアすべき課題等についてどのように捉えておられるんか。

○小川まち産業課長 1日当たり200キロというのは、約1頭当たり50キロ掛ける4頭、1日4頭ということで計算してあります。もっと駆除班の方々に使っていただくようPRをしたいと考えております。ただ、どうしても鹿やイノシシは殺したばかりのときにすぐウジが体から湧いて、吉永や遠方の方は三石まで持ってこられるよりも、自分の持っられる山で埋められたほうが早く処理できるということで、この処理施設に持ってこられるより山で埋められている方が多いということをお聞きしております。

○石原委員 当然予算も認められて設置もされとんどすけれども、今説明をお聞きすると、何か有効に使われる姿が思い描けんのですけれども、この処理装置、そもそもの導入の目的は何だったですかね。

○小川まち産業課長 この機械ができるまでは山に埋設処分、または八木山のクリーンセンターに持って行って焼却処分をしていただいていたんですけれども、そのクリーンセンターのほうで余りにも量が多くて燃やし切れない、負荷がかかり過ぎるということで、国のほうの補助金をいただきまして、有害鳥獣処理装置をつくらせていただいた次第であります。11月15日から3月15日の間は猟期に当たりますので、現在の頭数は予定よりも少ないですけれども、もう少し伸びはふえていくと考えております。

○石原委員 しっかり有効に使えるように努めていただきたいと思います。

それから、同じく歳出の資料の一番上ですけれども、これが先ほど歳入のところで御説明のあった県の補助金に関することかと思うんですけれども、5つの地区で延長が1.61キロということで52万9,000円が支出されておりますが、当初予算では300万円を見込んでおったようです。でありながら、約6分の1という形です。それから、前の年も決算額を見てみますと39万4,000円ぐらいの支出となっております。これを見ますと、県からの補助金をいただく上では、さっき言われたような3軒がまとまってとか、総延長であつたり計画性のようなところもあるんでしょうけど、やはりなかなか補助金交付を受ける基準が厳しいような面もあるんじゃないかなど。条件の緩和等について、なかなかこういうのが有効に使われてないというような現状の中で、来年度に向けて何か補助制度自体の条件等について、お考えをお聞かせいただければと思います。

○小川まち産業課長 確かに委員おっしゃられるとおり、平成26年度が1.06キロメートル、27年度が1.61キロメートルですが、23年度が12.78、24年度が10.45、25年度が8.61ということで、集落単位、大きな単位での防護柵はできております。残りの3軒に満たない、2軒での農地を守る、そういう区域が残って、それで1.06または1.61キロメートルというふうになっているんです。その中で、この補助金の対象があくまで農作物ということなんですけれども、私ども担当者や市長会からも、対象を農作物だけではなくて、公園とか学校とかそういう一般の公共物に対しても補助金を出していただくように、もっと柔軟な対応ができる補助金を創設してくださいということをお願いしている状況であります。

○田原委員 水道事業会計の抛出金で、前回約300万円の不用額が出ているんですよ。それで、市役所の前で水道管が破裂した事故があつて、今緊急でいろいろ頑張ってくれと思うんですけれども、その予算とかいうものはどういう対応の仕方をしているんですかということと、前回どこがどう不用額になったのか、こういう老朽管がいっぱいあるんじゃないかということを実民から聞かれるわけですね。この不用額との関連を含めて、今回の事故の対応について、せっかくの機会ですから教えてほしいです。

○藤森上下水道課長 毎年、老朽化した管については予算を上げております。例えば、今年度でありましたら、材料費が4,000万円、それから老朽化した管については6,000万円を毎年1億円ずつ改良していく予定であります。その予算を今回は使っております。

○田原委員 予算があるわけね。

○藤森上下水道課長 はい。

○田原委員 予算の中でやっていた。

○藤森上下水道課長 毎年老朽化調査と漏水調査の予算を上げております。それによって、悪い箇所があれば、その予算で対応してきております。前回、かなり不用額が出たのは、片上のタイムの前の三石第一ポンプ場の予算をかなり、やりかえで上げとったんですけど、とりあえず電気をやっただけなんで、その残りが不用額として大きく上がっております。それから、500ミリの管を調査して、悪かったら改良するという予算も上げていましたけども、調査したところ、悪いところがあったと3カ所だけを直して、それは500ミリじゃないんですけども、基幹管路といいまして、150ミリ以上の調査をしております。そこで悪かった箇所だけを直しておりますんで、予算として去年はかなり不用額が出ておりました。ことしはそういう悪かった箇所を直す予定のお金でとりあえず対応して復旧を進めております。

○田原委員 要は、事故が起きたときのことになるし、工事もきゅうきゅうになるし、大変だろうと思うんで、その辺計画的によく頑張っておもって対応してほしいなということを要望しておきます。

○藤森上下水道課長 おっしゃるとおり、私もそう思いますんで、少しずつでも調査を進めながら、来年はちょっと調査費を多くとらせていただいて改良をしていきたいと思っております。

○山本主査 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で本分科会所管部分のうち、まちづくり部ほか関係の審査を終了します。

以上で予算決算審査委員会総務産業分科会を閉会いたします。

午後2時05分 閉会